



# 金町学園通信

## 1月号

発行：平成 28 年 1 月 1 日  
東京愛育苑 金町学園長  
濱崎久美子  
No. 17

### 平成 28 年への期待と抱負

金町学園長 濱崎久美子

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいいたします。

愛育苑が金町学園を閉園することにより、80 年以上続いてきた『聴覚障害児の専門施設が無くなる！』危機感と共に新年を迎えました。

東京都が言っている「子ども達の居場所の見通しが見つからない限り、金町学園閉園の認可はしない」との意味は、『新しい別の学園を作り、移る』ことではありません。愛育苑が、入園している子どもと保護者の皆様一人一人に、閉園しますのでご協力を、とお願いし、他施設に移る、自宅に戻る等をお願いして、その見通しができれば閉園を認めるというものです。

聴覚障害児に必要な支援は、社会情勢や時代の変化に伴って、その内容や方法が変わります。その様な中で、家庭・本人・社会（学校等）の環境により子どもが社会自立を求めて入園し、これに応じて学校（教育）、病院（医療）、会社（労働）、支援（福祉）等々が連携協力して支援し、生活している場が学園です。

平成 28 年は、この学園の閉園問題を東京都にも世間にも、なぜ、聴覚障害児・手話言語の施設が不可欠なのか理解を深め、広げられる 1 年にし、ぜひとも新しい社会福祉法人「聴覚障害児の会」・新しい学園設立の実現を確かなものにしたいと考えています。どうぞご支援をお願いいたします。

### 児童が自ら作る避難訓練活動

主任児童指導員 菊永ふみ

ある日の食堂で「学園でもし地震が起きたらどうするの？」という話題で盛り上がったことをきっかけに Y 君、M 君、N 君を中心に W 君、O さん、T さんも加わり、全児童の承認のもと、防災委員会が新たに立ち上がりました。子ども達が、地震や火事の時の避難経路や非常口、夜間に火事が起きた時の協力体制、不審者が侵入した時の対策等を真剣に考えている姿に職員はただただ驚くばかり。

12 月は一時集合場所（金町学園園庭）、避難場所（水元公園）、避難所（水元小や水元中等地域の小中学校）を確認しました。実際に地震が起きたという想定のもと、園庭に集まり、水元公園に移動しました。水元公園といっても広いので、金町学園が集まる場所を皆で話し合っ決めて決まりました。M 君が他の児童に避難場所等の説明をし、Y 君と N 君が M 君を陰からサポートして、素晴らしいチームワークを見せてくれました。今年は、子どもたちが自ら何かを行うことが増えました。今後の活動に期待しています。

### みんなでやりました！年末大掃除

児童指導員 堀口昂誉

12 月 23 日（水）の祝日、学園の子ども達が大掃除をしました。今までの様々な学園行事の場合、自分で都合のいい理由を作って参加しない子どもも多くいたのですが、今回は部活があつて忙しい子どもも、帰園後に時間を調整するなどして全員の子どもが大掃除に参加しました。

今回は、清掃委員会の Y 君、H さん、K さん、N 君、S 君、K 君の 6 名を中心に、数回のミーティングや道具の点検、確認など、全体を通した準備ができました。

また、大掃除に向けて、新兵器のスポンジ「激落ちくん」の PR 撮影や宣伝を積極的に進め、当日は、みんなが「激落ちくん」をふんだんに使って、1 年分の汚れやほこりをきれいに落としました。これで良き新年を迎える準備が整いました。

皆さま どうぞよいお年をお迎えください。（児童指導員一同）